

## イギリス・アベリストウィス大学での短期留学を終えて

平成27年11月22日から12月12日までの3週間、ウェールズのアベリストウィス大学に短期留学しました。留学中はDr. Michael Roseの研究室にお世話になりながら研究活動を行いました。具体的には、大学の農場へ赴き、搾乳・回収した牛乳サンプルのタンパク質解析をすることを毎日繰り返しました。大学の農場は日本と比べると広大であり、大規模な酪農経営が行われている現場では、英語でコミュニケーションを取りながら共同作業を行う体験をしました。また、実験を計画するにあたっての議論や交渉、サンプリングを行う農場職員との信頼関係の構築、慣れない環境での研究生生活などを通して、自分自身のコミュニケーション能力を発展させ、新たな価値観を享受し、環境適応能力を高めることができました。食習慣や労働に対する価値観などの大きなレベルでの違い、交通ルール、店舗での支払い方法などの日常生活により近いレベルでの違いも経験し、留学前と比較して海外での生活に対する抵抗感もなくなり、海外で働くことも視野に入れられるようになりました。今後はより気軽にコミュニケーションを取れるようになるために英語学習にも力を入れ、次回海外へ行く機会があれば、たくさんの友達を作れるようになりたいと思いました。

農学研究科応用生命科学専攻機能形態学分野・博士課程前期2年 高梨 暁、同1年 鈴木 京



搾乳の様子  
(左写真の左の人物は鈴木、右写真は高梨)